



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月28日

上場会社名 日本精化株式会社

上場取引所 東

コード番号 4362 URL <http://www.nipponseika.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 矢野 進

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 深瀬 真一

TEL 06-6231-4781

四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	19,268	8.3	1,603	30.9	1,798	17.4	1,126	24.6
26年3月期第3四半期	17,785	1.6	1,224	△2.1	1,531	5.1	903	0.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 2,052百万円 (△2.0%) 26年3月期第3四半期 2,094百万円 (108.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	47.41	—
26年3月期第3四半期	38.03	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	36,306	28,964	77.5
26年3月期	33,860	27,365	78.8

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 28,123百万円 26年3月期 26,674百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年3月期	—	10.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	6.0	2,000	26.3	2,200	15.4	1,400	23.9	58.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	25,372,447 株	26年3月期	25,372,447 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	1,623,364 株	26年3月期	1,622,991 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	23,749,278 株	26年3月期3Q	23,749,786 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策の効果により景気は緩やかに回復しつつあるものの、消費者マインドの低下や世界経済を巡る不確実性を背景とした景気の下振れリスクなど、依然として先行きは不透明な状況で推移してまいりました。

このような事業環境のなかで、当社グループは新製品上市による競争力の強化、新規テーマの獲得とその拡販に努めてまいりましたが、家庭用製品事業において、新規顧客の獲得などに注力したことにより売上高は増加いたしました。一方、工業用製品事業においては、「ラノリン」「コレステロール」の輸出、「医薬用リン脂質」などが増加したことにより、売上高、利益ともに増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は192億6千8百万円（前年同四半期比8.3%増）と増収となりました。また、利益面でも営業利益16億3百万円（同30.9%増）、経常利益17億9千8百万円（同17.4%増）、四半期純利益でも11億2千6百万円（同24.6%増）と増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 工業用製品事業

当セグメントにおきましては、「ラノリン」「コレステロール」の輸出、「医薬用リン脂質」などが増加したことにより、売上高、利益ともに増加いたしました。この結果、売上高は142億5千7百万円（前年同四半期比10.0%増）、セグメント利益（営業利益）は11億2千9百万円（同39.1%増）となりました。

#### ② 家庭用製品事業

当セグメントにおきましては、新規顧客の獲得などに注力したことにより売上高は増加いたしました。一方、輸入原料相場や製品構成の影響などがあり利益は減少いたしました。この結果、売上高は43億6百万円（前年同四半期比1.8%増）、セグメント利益（営業利益）は3億4千2百万円（同9.9%減）となりました。

#### ③ 不動産事業

当セグメントにおきましては、賃貸物件の収益が安定的に推移し、売上高、利益ともにほぼ横ばいとなりました。この結果、売上高は2億5千8百万円（前年同四半期比1.9%増）、セグメント利益（営業利益）は8千万円（同2.0%減）となりました。

#### ④ その他の事業

当セグメントにおきましては、医薬品業界からの薬理・安全性試験の受託売上の増加により、売上高、利益ともに増加いたしました。この結果、売上高は4億4千6百万円（前年同四半期比29.8%増）、セグメント利益（営業利益）は5千万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度（以下「前期」という。）比24億4千5百万円増加し、363億6百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加などにより流動資産が22億2千1百万円増加し、投資有価証券の増加などにより固定資産が2億2千3百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の負債は、前期比8億4千6百万円増加し、73億4千1百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加などにより流動負債が6億9千6百万円増加し、繰延税金負債の増加などにより固定負債が1億5千万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前期比15億9千8百万円増加し、289億6千4百万円となりました。これは主として、四半期純利益の計上11億2千6百万円及び配当金の支払い4億7千4百万円などにより株主資本が6億8千4百万円増加し、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の増加などによりその他の包括利益累計額が7億6千4百万円増加したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間の売上高は、概ね計画どおりに推移しており、平成26年10月29日公表の業績予想に修正はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の設定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が51,551千円減少し、利益剰余金が33,199千円増加しております。なお、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,082,739	6,097,695
受取手形及び売掛金	7,257,581	6,879,517
商品及び製品	2,454,780	2,279,267
販売用不動産	42,565	-
仕掛品	1,406,452	1,426,828
仕掛販売用不動産	38,501	119,322
原材料及び貯蔵品	1,562,523	2,282,778
繰延税金資産	192,464	114,238
その他	104,067	164,777
貸倒引当金	△10,749	△11,805
流動資産合計	17,130,926	19,352,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,841,515	3,725,595
機械装置及び運搬具(純額)	1,916,313	1,697,107
土地	3,906,943	3,906,943
建設仮勘定	-	16,051
その他(純額)	347,823	344,397
有形固定資産合計	10,012,595	9,690,095
無形固定資産	372,541	381,790
投資その他の資産		
投資有価証券	5,962,227	6,487,684
その他	382,503	393,971
投資その他の資産合計	6,344,731	6,881,655
固定資産合計	16,729,868	16,953,541
資産合計	33,860,795	36,306,160

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,158,199	3,889,181
未払金	434,520	492,913
未払法人税等	347,371	174,266
繰延税金負債	-	4,784
賞与引当金	378,464	248,106
役員賞与引当金	35,967	32,098
設備関係未払金	76,862	73,397
その他	420,454	633,441
流動負債合計	4,851,840	5,548,189
固定負債		
繰延税金負債	937,839	1,191,337
環境対策引当金	4,900	1,251
退職給付に係る負債	519,150	420,696
長期未払金	38,039	38,039
長期預り保証金	92,622	95,866
資産除去債務	26,230	26,230
その他	24,212	19,662
固定負債合計	1,642,994	1,793,082
負債合計	6,494,834	7,341,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,933,221	5,933,221
資本剰余金	6,803,362	6,803,362
利益剰余金	13,022,061	13,706,354
自己株式	△1,022,434	△1,022,708
株主資本合計	24,736,211	25,420,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,605,449	1,943,834
繰延ヘッジ損益	1,395	9,891
為替換算調整勘定	362,148	773,294
退職給付に係る調整累計額	△30,401	△24,077
その他の包括利益累計額合計	1,938,592	2,702,943
少数株主持分	691,156	841,714
純資産合計	27,365,960	28,964,888
負債純資産合計	33,860,795	36,306,160

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	17,785,509	19,268,859
売上原価	13,693,104	14,677,843
売上総利益	4,092,405	4,591,015
販売費及び一般管理費	2,867,485	2,987,282
営業利益	1,224,920	1,603,732
営業外収益		
受取利息	60,941	35,789
受取配当金	108,979	113,350
為替差益	104,782	23,254
雑収入	36,983	27,951
営業外収益合計	311,687	200,346
営業外費用		
支払利息	3,210	2,851
雑損失	1,457	2,351
営業外費用合計	4,667	5,203
経常利益	1,531,939	1,798,876
特別利益		
固定資産売却益	1,207	-
投資有価証券売却益	106,257	32
特別利益合計	107,464	32
特別損失		
固定資産売却損	-	252
固定資産除却損	902	3,865
訴訟関連損失	95,258	-
ゴルフ会員権評価損	-	1,300
特別損失合計	96,160	5,418
税金等調整前四半期純利益	1,543,242	1,793,490
法人税、住民税及び事業税	439,774	492,476
法人税等調整額	151,645	125,411
法人税等合計	591,420	617,888
少数株主損益調整前四半期純利益	951,822	1,175,602
少数株主利益	48,400	49,559
四半期純利益	903,421	1,126,042
少数株主利益	48,400	49,559
少数株主損益調整前四半期純利益	951,822	1,175,602
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	739,583	338,385
繰延ヘッジ損益	4,935	9,379
為替換算調整勘定	398,293	522,392
退職給付に係る調整額	-	6,324
その他の包括利益合計	1,142,811	876,481
四半期包括利益	2,094,633	2,052,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,961,591	1,890,394
少数株主に係る四半期包括利益	133,042	161,689

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注)
	工業用製品 事業	家庭用製品 事業	不動産 事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,958,225	4,229,823	253,728	343,732	17,785,509	—	17,785,509
セグメント間の内部 売上高又は振替高	94,501	42,783	25,844	2,000	165,128	△165,128	—
計	13,052,726	4,272,606	279,572	345,732	17,950,638	△165,128	17,785,509
セグメント利益 又は損失(△)	811,845	380,112	82,225	△49,263	1,224,920	—	1,224,920

(注) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額(注)
	工業用製品 事業	家庭用製品 事業	不動産 事業	その他の 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,257,691	4,306,563	258,451	446,152	19,268,859	—	19,268,859
セグメント間の内部 売上高又は振替高	114,666	40,153	26,066	—	180,886	△180,886	—
計	14,372,357	4,346,717	284,517	446,152	19,449,745	△180,886	19,268,859
セグメント利益	1,129,603	342,643	80,540	50,945	1,603,732	—	1,603,732

(注) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法、割引率の設定方法を同様に變更しております。

なお、当該変更が損益に与える影響は軽微であります。